

加納悦子



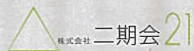
MEZZOSOPRANO

2011年7月16日 [土]

16:00開演 15:30開場

長尾洋史 PIANO

主催



PROGRAM

ベートーヴェン
アデライーデ 作品46

ハイドン
「オリジナル・カンツォネッタ」から
さすらい人
人魚の歌

メンデルスゾーン
新しい恋 作品19-4

ベルク
若き日の歌
四つの歌 作品2
ピアノソナタ 作品1
「ヴェッツェック」から
演奏会用編曲版

シェーンベルク
期待 作品2-1
婚礼の歌 作品3-4
自由な優しさ 作品3-6
「キャバレーソング」から
満足した恋人
ガラテア

※曲目は変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



会場

津田ホール

JR千駄ヶ谷駅前
都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A4出口前

チケット料金 (全自由席・税込)
1回券以外は二期会チケットセンターのみ販売
1回券4,000円 二期会オペラ愛好会割引あり
学生券2,500円 各回10枚限定
車椅子席2,500円 同伴者1名まで同額
4回券12,000円
2回券7,000円
全4回から2つお選びください

チケット販売

津田ホールチケットセンター
03-5355-1299
平日10:00-18:00 土日祝・休

チケット販売・お問合せ
二期会チケットセンター
03-3796-1831
平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休

制作

株式会社二期会21
<http://www.nikikai21.net/>

二期会 ゴールデン コンサート in 津田ホール

今、届けたいメッセージ

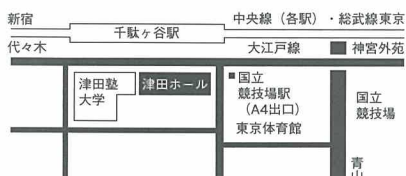
VOL.33

二期会一押しのアーティストが真剣勝負で挑む二期会ゴールデンコンサートin津田ホール。今シーズンも芸術的個性豊かな歌手が登場します！歌うことにこめたアーティストのメッセージがコンサートをお楽しみなさまに届きますように！

アルバン・ベルクの音楽には、究極のロマンティズムがあると思う。

調性が今にも壊れてしまいそんな危うい美しさのく若き日の歌>からはや無調という寄る辺の無い形式に怒濤の人間ドラマを描いた『ヴォツェック』までベルク音楽に迫るメゾソプラノ加納悦子とピアニスト長尾洋史のリサイタル。

◆津田ホールまでのご案内◆



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24 TEL.03-3402-1851
JR千駄ヶ谷駅前・都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A4出口前
◇駐車場はご利用いただけません。

加納悦子 MEZZOSOPRANO

かのう えつこ

磨き抜かれた圧倒的な歌唱力で、日本に於けるリート第一人者

東京都出身。東京藝術大学大学院を修了後、ドイツ国立ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。同大学在籍中にケルン市立歌劇場のオペラスタジオリサーチ生となり、94年から同歌劇場の専属歌手として契約。1995年ザルツブルグ国際モーツァルトコンクール声楽部門2位入賞。

ケルン歌劇場ではジェームス・コンロン等の指揮で『フィガロの結婚』のケルビーノ、『蝶々夫人』のスズキ、『ヘンゼルとグレーテル』のヘンゼルなど40以上の演目に出演。

ヨーロッパの他の歌劇場では、ドイツ・シュトゥットガルト州立歌劇場、シュヴェツィンゲン音楽祭、ベルギー・フランドルオペラ、オランダ・ロッテルダムのゲルギエフ・フェスティヴァル、スイス・ザンクトガレン歌劇場などに出演し、ヘンデル『アルテーナ』のルッジェーロ、『コシ・ファン・トゥッテ』のデスビーナ(指揮 ルネ・ヤコブス)、また、ウルマンの『アトランティックの王』などの現代オペラにも出演。日生劇場開場40周年記念/二期会共催公演『ルル』では主要3役をこな

し、柔軟性ある演技が絶賛された。2004年には新国立劇場公演ウルフ・シルマー指揮『エレクトラ』に第三の下女役で出演し、続く05年にも同劇場小劇場『ザザ』アナーイデ、同劇場『ホフマン物語』ニクラウス/ミューズ、同劇場『魔笛』侍女IIで出演。また08年には、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『ばらの騎士』(A.ホモキ演出 東京二期会制作)オクタヴィアン役で大好評を博した。09年10月にびわ湖ホールオペラ『ルル』、11月に東京二期会『カブリッチョ』女優クレロン役2010年10月『トリスタンとイゾルデ』(びわ湖ホール)ブランゲーネに出演など話題作への出演が続き、いずれも高い評価を得ている。コンサート活動は、ヨーロッパを中心にルビアナ放送響とのマラー「千人の交響x曲」、ミラノ放送響とのモーツァルト「レクイエム」などのアルトソロ、また日本ではルネ・ヤコブス指揮バハ「ロ短調ミサ」の第2ソプラノソロや97年ザルツブルグ音楽祭で、ハイドン「聖ミサ」のソロに出演。NHK交響楽団とはシャルル・デュトワ、ヘルベルト・ブロムシュテット指揮、ドビュッシー「選ばれた乙女」グリーグ「ペールギュント」、ブルックナー「ミサ」などのソロで98年より3シーズン連続共演した。2002年には、東京でモーツァルト・グランド・ガラに出演し、G.アルブレヒト指揮ブラハ室内管弦楽団と共演、続いて新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートオペラ『ナクソス島のアリアドネ』(井上道義指揮・演出)で作曲家役を見事に演じ、喝采を浴びた。また、読売日本交響楽団40周年記念『パルジファル』オペラ公演(G.アルブレヒト指揮)に花の乙女役で出演。翌03年秋にはN響定期で「大地の歌」を歌い、内面を深く掘り下げた音楽が近年稀に見る演奏と高い評価を得た。05年に行われたG.アルブレヒト指揮による読売定期にて、読売日響委嘱作品「ここに慰めはない」(猿谷紀郎作曲)を世界初演、既に熟成された作品として披露するに至る演奏は絶賛を博した(同曲は第54回尾高賞を受賞)。06年、東京都響に招かれベルリオーズ「夏の夜」を演奏。色彩感に富んだ見事な歌唱を披露、読売日本交響楽団では、マンフレッド・ホーネック企画・構成・指揮による「モーツァルトくレクイエム」一死と再生、東京交響楽団「モーリス・デュリュフレの響き」等で好評を博す。その他にもサントリー音楽財団作曲家の個展2008<猿谷紀郎>、09年もN響「真夏の夜の夢」、10年ベルリオーズ「夏の夜」(M.ブラッソン・東京フィル)の傑出した演奏で聴衆を魅了。11年新国立劇場『ばらの騎士』アンニーナ役でも絶賛された。「第九」等のソリストとしても確かな信頼を得ている。二期会会員



長尾洋史 PIANO

ながお ひろし

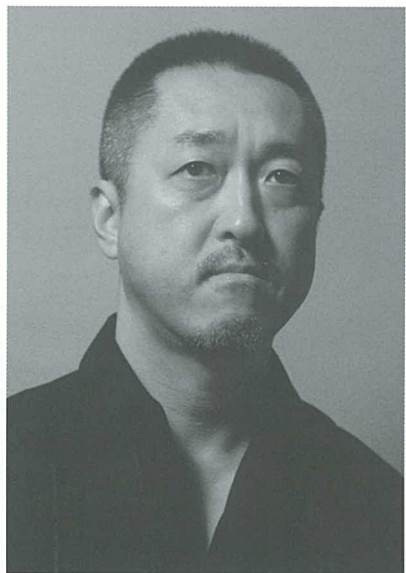
東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年パリ・エコールノルマルに留学。

NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など主要オーケストラと共演。

ソロ・リサイタルのほか、現代音楽分野では国内外の作品初演を多数手がけている。また「東京の夏」「サイトウ・キネン・フェスティヴァル」などの主要音楽祭の出演、また室内楽も積極的に行い、ミシェル・ベッケ(トロンボーン)、エリック・オビエ(トランペット)、ジャン＝イヴ・フルモー(サクソフォーン)、パーヴェル・ベルマン(ヴァイオリン)等の管弦楽器奏者との共演も多い。

ソロCDは、「エボカシオン」「長尾洋史ブレイズ ラヴェル&ドビュッシー」(ライブノーツ)、最新CD「メシアン：アーメンの幻影/藤原亜美&長尾洋史」(コジマ録音)ではレコード芸術準特選盤に選ばれるなど高い評価を得ている。

現在、国立音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。



▶今後のゴールデンコンサート

VOL.34 11年8月23日[火]

福井敬 TENOR
福島明也 BARITONE
谷池重穂子 PIANO
19:00開演18:30開場

VOL.35 11年10月15日[土]

経種廉彦 TENOR
御部典一 PIANO
16:00開演15:30開場

VOL.36 12年3月17日[土]

佐々木典子 SOPRANO
千葉かほる PIANO
16:00開演15:30開場